

見積り仕様

1 見積書は一括購入とし、本業務に係る一切の費用を計上した上で、可能な限り詳細な明細を添付すること。

○ システム更新に係る初期費用（イニシャルコスト）

- (1) ハードウェア関係費
 - ・ サーバー機器及び UPS 等周辺機器の費用
- (2) ソフトウェア関係費
 - ・ パッケージソフト費用（業務パッケージ）及びカスタマイズ費用
 - ・ その他ミドルウェア及びライセンス費用等
- (3) 工事調整費用
 - ・ 機器搬入及び設置調整費用
- (4) データセッティング費用
 - ・ システム稼動に必要なデータのセッティング費用
 - ・ 既存データの移行費用
- (5) その他
 - ・ システム説明及び操作説明など教育研修費

2 参考見積書は、「いちき串木野市避難行動要支援者管理システム更新業務仕様書」の「12 運用保守」に記載された、令和 5 年度以降必要となるシステムの運用・保守に係る経費について、令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間の費用及び積算内訳書を添付すること。

○ 5年間の維持管理運用に係る費用（ランニングコスト）

- (1) ハードウェア関係費
 - ・ 必要と思われる保守費用
- (2) ソフトウェア関係費
 - ・ 稼動後のシステム運用維持に伴う支援サポート費用
 - ・ 対象者データ更新に係る費用
 - ・ 職員異動に伴う操作研修費用
 - ・ パッケージソフト以外でソフト、ライセンス更新に伴う費用
- (3) その他
 - ・ システム稼働維持管理費用等で必要と判断する全ての費用を提示すること。